

法律論叢第 71 卷 4・5 合併号
(椿寿夫教授古稀記念論文集)
1999 年 2 月 26 日刊行

掲 載 内 容 【論 説】	(頁数)
第二次大戦直後の労働立法の命運	松 岡 三 郎 (1)
「民事執行上の催告」による暫定的中断効と消滅時効中断効論	伊 藤 進 (27)
医師の過失 ——医療水準論を中心に——	新 美 育 文 (69)
フランス法における <i>lettre d'intention</i> の法理について ——子会社の債権者への親会社による支援の約束の法的分析——	平 野 裕 之 (101)
法律行為の解釈の構造 ——無効行為の転換を素材として——	神 田 英 明 (137)
条件・期限付法律行為無効論序論 ——停止条件付法律行為の無効性を中心として——	亀 田 浩一郎 (177)
アメリカ著作権法におけるパロディー法理の発展と展望	松 平 光 徳 (207)
日本民法成立過程における履行請求権・再論	芦 野 訓 和 (239)
椿先生のこと	伊 藤 進 (281)
椿 寿夫先生略歴及び主要研究業績	(285)

明治大学法律研究所